

令和6年度第4回岩国市地域公共交通活性化再生法協議会

令和6年度第3回岩国市地域公共交通会議（合同開催）（Web会議）

日時：令和7年2月18日（火）10：00～

場所：岩国市役所 51・52 会議室 ほか

次 第

1 開 会

2 議 事

- |   |     |           |
|---|-----|-----------|
| (1) 令和7年度岩国市地域公共交通活性化再生法協議会事業計画（案）及び予算（案）について   | 資料1 | p. 1～p. 2 |
| (2) 岩国市地域公共交通計画の評価について                          | 資料2 | p. 1～p. 2 |
| (3) 令和6年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）について | 資料3 | p. 1～p. 3 |
| (4) 地域間幹線系統確保維持計画（広益線）の変更について                   | 資料4 | p. 1～p. 7 |
| (5) 日米親善デーにおける輸送体制について                          | 資料5 | p. 1      |
| (6) 岩国市生活交通バス（周東地域）の路線再編について                    | 資料6 | p. 1～p. 8 |
| (7) 岩国市生活交通バス（錦地域）の路線再編について                     | 資料7 | p. 1～p. 4 |

3 報 告

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| (1) 外国人を対象とした英語版バスの乗り方パンフレットについて | 資料8 |
|----------------------------------|-----|

4 その他

5 閉 会

- 議 事 -

(1) 令和7年度岩国市地域公共交通活性化再生法協議会事業計画（案）及び予算（案）について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(1) 令和7年度岩国市地域公共交通活性化再生法協議会事業計画（案）及び予算（案）について」をご説明いたします。</p> <p>それでは、資料1の1ページをご覧ください。</p> <p>まず、1の「公共交通の利用促進」につきましては、令和5年3月に策定しております岩国市地域公共交通計画に定めたモビリティ・マネジメント事業を実施します。</p> <p>事業は大きく分けて5事業を予定しております。「(1)市内の公共交通を網羅した「岩国市公共交通マップ&amp;時刻表」の更新・作成」「(2)高齢者優待乗車証交付事業との連携」「(3)市内の高校2年生への動機付け資料の配布」「(4)転入者を対象とした公共交通の利用促進事業」「(5)外国人を対象とした公共交通の利用促進事業」等を予定しています。</p> <p>このうち、まず、「(1)市内の公共交通機関を網羅した「岩国市公共交通マップ&amp;時刻表」の更新・作成」につきましては、平成28年4月版の発行以降、毎年4月版と10月版を発行し、市民の皆様にご利用いただいているもので、令和7年度も引き続き、作成・配布を行う予定としております。</p> <p>次に「(2)高齢者優待乗車証交付事業との連携」につきましては、高齢者支援課が実施している「高齢者優待乗車証交付事業」と連携して事業を行うものです。70歳の誕生日を迎えられる市民の皆様へ優待乗車証を送付する際に、公共交通マップを同封することで、バス路線等本市の公共交通網の状況をご案内し、優待乗車証、ひいてはバスなどの公共交通の利用促進を図りたい、というものでございます。</p> <p>次に、「(3)市内の高校2年生への動機付け資料の配布」についてですが、高校2年生に対しては、今後の進路において、岩国市に住み続けながら公共交通で広島や周南などへ通学・通勤することを選択していただきたいことから、公共交通機関の利用を促すパンフレットを作成・配布いたします。</p> <p>次に、「(4)転入者を対象とした公共交通の利用促進事業」につきましては、本市に転入していただく方に対して、市内の公共交通機関の種類や利用方法をお伝えするチラシを作成し、窓口で交付をすることで、今後の利用促進に繋がりを、周知をするものでございます。</p> <p>最後に「(5)外国人を対象とした公共交通の利用促進事業」につきましては、これは、今年度、令和6年度から始めた事業で、主に米軍岩国基地に新規に配</p>

属された外国人及び訪日外国人観光客に対して、特に利用の多い岩国駅から錦帯橋間及び岩国駅から由宇の潮風公園までのバス乗車方法についてのパンフレットを英語で作成・配布することで、今後の利用増進を促すというものでございます。

以上が、1番目の「公共交通の利用促進」に掲げた事業でございます。

次に、2の「公共交通教室の開催」についてですが、例年、中国運輸局山口運輸支局さま、徳山支局さま、錦川鉄道さま、岩国柱島海運さまのご協力をいただきながら、公共交通の乗り方教室を開催しています。令和7年度につきましても、市内の児童や高齢者等を対象に、鉄道や離島航路、バスの乗り方教室を開催する予定としております。

次に、3の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」につきましては、国土交通省の国庫補助事業でございますが、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の対象路線となります「生活交通バスの玖西循環線」と「過疎地域乗合バス」について、所定の手続きを行うものでございます。

次に、4の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金及び鉄道施設総合安全対策事業費補助」につきましては、こちらも国土交通省の国庫補助事業となりますが、錦川鉄道株式会社において実施する「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」について、所定の手続きを行うものでございます。

最後に、5の「岩国市地域公共交通計画の評価・検証」につきましては、令和4年度に策定しました当計画の評価指標について、毎年評価を行うものです。

以上が、令和7年度の事業計画（案）でございます。

続きまして、令和7年度予算（案）について、ご説明いたします。

2ページ目をご覧ください。

まず、歳入についてご説明します。

歳入につきましては、岩国市からの負担金 422万7,400円 と、国からの補助金 795万円を見込んでおり、歳入合計は、1,217万7,400円となっております。

次に歳出についてご説明します。

歳出につきましては、「運営費」のうち「会議費」として、委員報酬等の経費を11万8,000円、「事務費」として、会議の開催案内等の郵送料など、6万8,000円見込んでおります。

これら「運営費」の合計は、18万6,000円となっております。

次に「事業費」として、モビリティ・マネジメント事業に係る経費を計上し

	<p>ております。「(1)岩国市公共交通マップ&amp;時刻表」等の作成として、336万1,600円、「(2)高校生を対象とした公共交通利用促進事業」として28万6,000円、「(3)転入者を対象とした公共交通利用促進事業」として19万5,800円、「(4)外国人を対象とした公共交通利用促進事業」として19万8,000円、</p> <p>さらに、国から交付を受けた国の補助金795万について、生活交通バスを運行する岩国市の、一般会計へ支払う生活交通バス分707万3,000円と、過疎地域乗合バスを運行する第一交通株式会社さまへ支払う87万7,000円を見込んでいます。</p> <p>この国の補助金については、昨年度、令和6年度までは、国から直接、運行事業者である岩国市や第一交通さまへ補助金が交付されていましたが、国の法改正により、令和7年度から当協議会を經由して市及び第一交通さまに補助金を支払うことになったものです。</p> <p>これにより、「運営費」「事業費」を合計した歳出の合計額は、歳入と同じく1,217万7,400円となっております。</p> <p>なお、本予算案のうち岩国市の負担金につきましては、令和7年度岩国市当初予算として3月市議会定例会に提案する額を計上しております。本協議会の予算案は岩国市議会において負担金が承認された後に確定となりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上で、議題「(1) 令和7年度岩国市地域公共交通活性化再生法協議会事業計画(案)及び予算(案)について」の説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>只今、事務局の方から7年度の事業計画(案)と予算(案)の説明がございましたが、皆様方の方からご質疑、ご質問等がありましたらお願いをいたします。</p> <p>今年度と来年度の大きな違いは、先程言われた「地域公共交通確保維持改善事業」こちらの事業費分が協議会の方に直接入ってくるということが、違ってくるということですね。</p> <p>一旦、協議会が受けて、ここから支出をするということですね。</p> <p>どうでしょうか、何かご意見はございますか。</p>
<p>加藤准教授</p>	<p>例年伺っているかもしれないのですが、1の「公共交通の利用促進」で、5項目、だいたい例年通りの実施ということですが、これを行うことによる、実際にモビリティ・マネジメントと言いますか、行動が変容したとか、利用するきっかけになったとか、何かそういう効果の測定であったりだとか、何かそれによってこういう改善が必要だとか、もっとこういう取り組みをしていこうとか、何か工夫をしていこうとか、そういったPDCAサイクルみたいなものが回っていくといいのかなと思ったりしてしまして。</p>

	<p>以前、例えばこの時刻表にハガキをつけて感想を書いてもらうということもありましたが、なかなか回答数も少なくてうまくいかなかったことも実際は確かにあるのですけれども。</p> <p>何かそういった、実施の効果とか改善とか工夫とかいうところの、事務局として何か取り組まれたり、考えたりしておられることがあれば教えていただきたいというのがあります。</p> <p>それから、2番の「公共交通教室の開催」も熱心に取り組んでおられると思いますが、これも例えば今年度はどのようにやったとか、あるいは来年度はどういった、例えば「学校で」「地域で」実施するとかっていうものがあると、もうちょっとわかりやすいのかな、というふうに思ったところなので。</p> <p>そのあたりのご説明がいただければお願いしたいと思います。以上です。</p>
事務局	<p>事務局の方からお答えさせていただきます。</p> <p>1点目の利用促進のマップだったり、この協議会の方でマップを配布したり、パンフレットを配布したりというのはさせていただきます。</p> <p>3番目の市内の高校2年生の動機付け資料というのも、高校の方にも校長先生の方や教頭先生の方にもお伺いさせていただいたりしながらご意見もいただいております。</p> <p>特に、大きな内容の変更はしていないのですが、継続してやってほしいというご意見もいただいておりますので、毎年引き続きやらせていただいているところです。</p> <p>5番目の「外国人を対象とした公共交通の利用促進事業」これは今年度、令和6年度から実施した事業でございます。</p> <p>これについては岩国基地の関係者の方々とも色々話をしながら、今回作らせていただいて、後ほど報告でどんなパンフレットが出来たかっていうのも報告させていただこうかなと思っておりますが、これについては1回出来ただけが目的を達成したわけではなくて、今後も基地の方々ともご意見いただきながら、色々ブラッシュアップしながら、より良いパンフレットにしていきたいなと思っております。</p> <p>乗り方教室につきましては、今年度私の方が担当させていただきましたので、私の方からご報告させていただきます。</p> <p>毎年、船の乗り方教室につきましては、岩国柱島海運様と柱島に向かう自然教室のタイミングで実施の方をさせていただいているところです。</p> <p>今年度につきましては、例年は自然教室が泊まりということで時間の余裕があり、運輸局徳山支所の方と一緒にさせていただいておりましたが、今年度はスケジュールの関係で日帰りでの実施ということでしたので、例年並みの時間が取れないところがありまして、市単独での実施という形にさせていただきました。</p> <p>こちらは例年通り2回、小学校2校分で実施をしております。</p>

	<p>また、バスの乗り方教室につきましては、例年いわくにバスさんと実施をさせていただいておりましたが、なかなか運転手さんが現在不足しているというところで、実際のバス車両を用いて実施が難しいというところで、今回、市の方でパワーポイントを利用して、授業1時間分の実施という形をしております。実際の車両がなかったため、これまで学校敷地内に入る傾斜がある関係で乗り方教室が実施できなかった小学校がありまして、今回は車両を用いずに乗り方教室を実施するというので、初めて授業の方で乗り方教室をさせていただきました。2クラス分実施をいたしまして、1日で2時間分乗り方教室の実施をしているところです。</p> <p>内容といたしましては、実際のバスの乗り方マナーですとか、岩国ですと後ろ乗りから前降りというような形の実際の乗り方、そういったような話をし、参加された生徒さんには記念の証書のようなものをお配りしているところです。</p> <p>乗り方教室につきましては、報告は以上となります。</p> <p>あと、今年度のバスの乗り方教室につきましては、学校の方は特にどこでやるとかというのはまだ決めてはないのですが、今年度やりました学校も含めて何校か追加で出来ればいいなという感じで、今後、その辺については決めていくような予定にしています。以上です。</p>
加藤准教授	<p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>それと、追加で今ご回答いただいたものも含めて、今、岩国市のホームページの方を拝見しますと、例えば、岩国市公共交通マップ&amp;時刻表のPDFが交通政策課の方に貼ってありまして、92ページ、今貼ってある分は出てきますが、一括でパッと貼ってあると後ろの方のページを見ようと思うと、だいぶスクロールしなきゃいけなかったりとか、ダウンロードするのにデータ量が多かったりするので、例えば分割して、方面別だったりとか、ユーザー目線で使い勝手がいいような形でホームページに掲載をするとか、何かそういう工夫の余地はあるんじゃないかなというふうに今思ったところですし、あと、同じく市役所のホームページで観光地として錦帯橋がありますが、アクセスとしてバスがありますよということは書いてあるのですが、時刻表などはそこにはないのですね。</p> <p>それで、公共交通マップ&amp;時刻表のURLをリンク先として錦帯橋のページにつけるとか、あるいは岩国市内の民間商業施設とか、そういったところにこのデータを提供するとか、あるいはその関連部分の路線とか時刻表のものを提供して、例えばゆめタウンさんのホームページに貼ってもらうとかですね。</p> <p>そういうふうに目的先に提供したり、リンクを貼ってもらうということも出来るんじゃないかなと思ひまして。</p> <p>先程、作って終わりではないということで、外国人の方向けのチラシのところでもおっしゃっていただきましたが、もっと使っていただくような見やすく</p>

	<p>するような工夫なんかも取り組んでいただきたいなと思ったところです。</p> <p>あとは外国人対象で言いますと、例えばチラシもいいのですが、動画とかSNSにしてアップする方がアクセスしやすいとかですね。</p> <p>あるいはバズったりとかっていうふうなこともあるかもしれませんので。</p> <p>先程米軍基地ともコミュニケーションを取りながらとおっしゃってましたので、何かそういうところも取り組んでいただいたらなと思ったところです。</p> <p>あと最後にすみません、私の不勉強で申し訳ないのですが、モビリティ・マネジメントで以前、岩国市役所さんの職員の方とのモビリティ・マネジメントということで、多くの方がそこに従事しておられるから、そうした方が公共交通利用に転換していくというのも一つの大きなきっかけになるかなと思うのですが。</p> <p>その取り組みは以前、取り組みで終わってしまったという感じでしょうか。それとも何か市役所としてモビリティ・マネジメントをすとか、何曜日かは残業しないようにしましょうというようなことをされていた気がしたのですが、そういったものの進展具合を教えてくださいなと思います。</p> <p>すみません、以上です。</p>
事務局	<p>はい、事務局から答えさせていただきます。</p> <p>市役所の職員に対するモビリティ・マネジメントは、申し訳ないですが大きな進展がないのですけれども。</p> <p>ただ、月に2回程度「ノーマイカーデー」だったり、そういった取り組み、先程言われました「ノー残業デー」だったり、そういった取り組みは引き続きやらせていただいております、その中で公共交通を積極的に使っていただくようにというところで、市での取り組みはさせていただいております。</p> <p>先程、加藤教授が言われたように、パンフだけではなく、動画だったりとかいうところであったり、PDFをもっと分割して掲載したらというところにつきましては、ご意見ありがとうございます。</p> <p>なるべく見やすいようにということで対応はさせていただこうと思います。動画については予算の関係とかもあったりするので、なかなかすぐということになるかわかりませんが、PDFの分割につきましては対応させていただきますので、ご意見ありがとうございます。以上です。</p>
会長	<p>色々ご意見いただきましてありがとうございます。</p> <p>先程言われた市の職員への取り組みというのは第2、第4水曜日に「ノーマイカーデー」というのを設けておりますが、やはりもう少し職員に対しては利用促進について、これまでやってきておりますが、引き続き継続して利用促進に向けて取り組んでまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>はい、どうでしょうか。他の委員の皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>では、他になければ議題の1につきまして、事務局の提案のとおり承認することとしてご異議ございませんでしょうか。</p>

委員等	異議なし。
会長	ご異議なしと認め、これを決定といたします。 次に、議題の2「岩国市地域公共交通計画の評価について」を議題といたします。 事務局の方で説明をお願いします。

(2) 岩国市地域公共交通計画の評価について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(2) 岩国市地域公共交通計画の評価について」をご説明いたします。それでは、資料2の1ページをご覧ください。</p> <p>令和5年3月に策定いたしました当計画については、計画期間を令和5年度から令和14年度までの10年間とし、計画の実現に向けて評価指標と目標値を設定しています。</p> <p>この資料は、当計画で設定した目標値に対し、現状値を表したものになります。</p> <p>1ページ目の一番左の欄には評価指標である「市民一人あたりの鉄道・バス等年間利用回数」を記載しており、その右隣の欄については、各エリアにおける利用回数を基準値、中間目標値、最終目標値を記載しています。</p> <p>右から3番目の欄の「達成状況・分析」については、現状値を記載し、既に中間目標値を達成している項目については○を記載し、それ以外については▲で記載しています。</p> <p>1ページ目の評価指標については、ほとんどにおいて中間目標値を達成しています。計画策定からこれまでの間、当協議会といたしましては、路線の見直しをはじめ、利用促進に向けた活動などを行ってまいりましたが、この度の大幅な増の主な理由といたしましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、公共交通機関の利用が回復したことが挙げられます。</p> <p>続いて裏面の2ページをご覧ください。</p> <p>ここでは、国の補助路線である生活交通バスの「玖西循環線」をはじめ、過疎地域乗合バスと、石見交通様が岩国市を經由して運行している高速バス「広益線」における目標値や達成状況を記載しています。</p> <p>一番上の評価指標である「経常収支率」と2つ目の評価指標の「公的負担額」については、過疎地域バスは運賃収入の減少により「経常収支率」現状値以下となった以外は、中間目標値を達成している状況です。</p> <p>しかしながら、今後においては、昨今の物価高騰などにより運行経費が増えることが予想されます。当協議会としては、引き続き利用促進に努め運賃収入を増やすことで、目標値達成に向けて努めてまいります。</p> <p>3つ目及び4つ目の評価指標である市民一人当たりのバスの年間利用回数及び公共交通利用者数については、1ページで説明させていただいたのと同様、新型コロナウイルス感染症の5類移行が主な原因となり、大幅な増となっ</p>

	<p>ています。</p> <p>しかしながら、コロナ前の利用水準には戻っていないことから、引き続きモビリティ・マネジメント等を通じて、利用者増に向けて努めてまいります。</p> <p>以上、当議題にかかる説明を終わります。</p>
会長	<p>只今事務局の方から説明がありましたけども、委員の皆様方については何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>特にございませんでしょうか。</p>
能登委員	<p>多くの目標を達成されているということなのかと思っておりますが、中間目標、最終目標に達成する最終目標値をもうすでに現時点でもう達成されているところなどあるかと思えますけども、これらについて目標を見直されるとかいうことはございますか。というのが、そもそも目標を達成されるというのは大変良いことかと思うのですが、この目標を達成したから公共交通の利用っていうのが非常に良い状況にあるということでもないのではないかなと思った時に、もし達成されているのであれば、少し目標を見直されても良いのではないかなと思った次第です。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>委員がおっしゃる通り、多くの目標値で最終目標値を達成しているような状況でございます。</p> <p>この目標値を作成した時がコロナ真っ只中の時でございまして、若干利用を抑えた目標値になっているのは事実でございますので、今後につきましては、この目標値には現実的な現状に沿ったような形の数値に改めて行きたいと考えております。</p> <p>また次回の協議会において、またその辺を提案させていただければなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>よろしいですか、他いかがでしょうか。</p> <p>はい、では他にないようでございますので、議題2につきましては事務局の提案のとおり承認することとしてご異議ございませんでしょうか。</p>
委員等	異議なし。
会長	<p>ご異議なしと認め、これを決定いたします。</p> <p>次に議題の3「令和6年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局の方から説明をお願いします。</p>

(3) 令和6年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(3) 令和6年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画について」を説明いたします。</p> <p>それでは資料3をご覧ください。</p>

	<p>この計画は、錦川鉄道㈱が輸送の安全を確保するために行っている鉄道設備の改修・更新事業について、国の鉄道施設総合安全対策事業に係る補助金の交付を受けるために必要となるものです。</p> <p>この計画における事業の目的・必要性は『錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっていますが、開業以来 60 年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでおり、保守作業等における安全性を確保するためにケーブル更新などの老朽化した鉄道施設を更新することによって、輸送の安全を保つ必要がある。』としております。</p> <p>次に、事業の定量的な目標及び効果は『錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており、損失補てん等のために積み立てた基金も減少しています。こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行なうことにより輸送の安全を向上させる。』としております。事業の内容につきましては、事業を実施する事業者であります、錦川鉄道㈱代表取締役の廣田委員にお願いしたいと思っております。廣田委員、お願いいたします。</p>
廣田委員	<p>今ご説明いただいたことに補足してご説明させていただければと思います。</p> <p>昨年 5 月の再生法協議会におきまして、錦川鉄道における令和 6 年度整備計画等の事業内容、費用負担について議論いただき、合意をいただいたところがございます。</p> <p>今回、資料 2 の別紙 1 に記載のとおり、当初の整備計画で令和 7 年度の整備事業として予定しておりました 80,290 千円分の事業については、国から令和 6 年度の補正予算で対応するよう指示があったため、この度、令和 6 年度補正分として繰り上げて整備を行うこととしています。</p> <p>なお、国の補助割合につきましては 3 分の 1 で内示を得ております。</p> <p>引き続き、線路施設老朽箇所を更新や改修、車両の適切な維持、管理を進め、防災、減災、ならびに列車の安定輸送に努めるよう整備事業を計画的に行っていきたいと考えております。私の方からの補足説明は以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。事務局から一点ご連絡させていただきます。</p> <p>国の令和 6 年度補正予算事業により、本日お諮りいたしました事業計画等は、錦川鉄道㈱が、本補正予算によって、国に対し要望を行った事業計画を基に作成しております。また、本日お示ししている資料があくまでも素案となっており、今後における中国運輸局との協議により、部分的に調整箇所が出てくるのが想定されます。</p> <p>その調整等につきましては、事務局に一任していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上で資料の説明を終わります。</p>
会長	<p>只今議題の 3 につきまして、事務局それから廣田社長の方から説明をしていただきましたが、皆様の方からご質疑、ご質問等ありましたらお願いをいたします。</p>
加藤准教授	<p>教えていただきたいのですが、前倒しになったということで、早く出来るこ</p>

	<p>とになったということは喜ばしいことですが、事業の完了自体は次年度まで跨いでも大丈夫ということで国が出しているということなのでしょうね。</p> <p>その点の確認と、あと逆に繰り上がったので、今度次年度以降はまた更に要求が出来る、そういう感じになるのかどうかというふうなところを聞きたいです、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>基本的には前倒しのものは繰越をする想定になっておりますので、事業自体は令和7年4月1日以降に実施するようになろうかと思えます。</p> <p>令和7年度の事業について、前倒しで実施していきますので、基本的には国の方からまた、同じ時期くらいに今度は令和8年度事業を令和7年度の方に繰り下げでやっていくという指示がありましたら、今度は令和7年度の繰越事業として、令和8年度分を実施するようになろうかと思えます。</p>
会長	<p>よろしいですか。6年度の補正部分で繰越をして、令和7年度中の完了ということですね。他いかがでしょうか。</p> <p>他になれば、議題の3につきまして事務局の提案のとおり承認することとしてご異議ございませんか。</p>
委員等	異議なし。
会長	<p>ご異議なしと認め、これを決定といたします。</p> <p>次に議題の4「地域間幹線系統確保維持計画（広益線）の変更について」を議題といたします。事務局で説明をお願いします。</p>

(4) 地域間幹線系統確保維持計画（広益線）の変更について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(4) 地域間幹線系統確保維持計画（広益線）の変更について」をご説明いたします。</p> <p>それでは、資料4の1ページをご覧ください。</p> <p>本市には、国の補助を受けて運行しているバス路線が5つございますが、このうち、一番北の路線、石見交通様が運行している、島根県益田市から岩国市を經由し、広島駅までのバス路線（広益線）についての議題となります。</p> <p>当路線の令和6年10月から令和7年9月までの期間における国への補助申請については、昨年6月の当協議会において文書協議でお諮りし、ご承認をいただいたところですが、昨今の物価及び人件費高騰により、当路線は、令和7年3月30日から運賃の値上げを予定されております。</p> <p>これにより、申請済みの国への補助申請の内容を変更する必要がありますので、この度、補助申請の内容変更について、当協議会にお諮りするものです。</p> <p>2ページ目をご覧ください。当路線の時刻表となっております。1日6往復運行しております。</p>

	<p>この度は、時刻についての変更はございませんので、参考ということで見ていただければと思います。</p> <p>続きまして3ページ目をご覧ください。</p> <p>当路線における運賃表となります。単位は10円で表示していますので、実際の金額はゼロをひとつ足してご覧いただければと思います。上の表が現在の運賃表で、下の表が3月30日から変更となる運賃表となります。黄色の部分がこの度改正を予定している運賃となっております。</p> <p>4ページ目をご覧ください。</p> <p>4ページからは、この度の運賃改定に伴う、国への補助申請の変更届出書になります。</p> <p>前回提出した申請書から変更となった箇所については、黄色で表示しており、6ページ及び7ページの一部につきまして変更をしています。</p> <p>なお、この度の変更申請に伴う国の補助金の申請金額には変更はありません。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
会長	<p>議題の4について事務局の方から説明がありましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>特にございませんか。</p> <p>では、特にないようですので、議題4につきましては事務局の提案のとおり承認することとしてご異議はございませんでしょうか。</p>
委員等	異議なし。
会長	<p>ご異議なしと認め、決定といたします。</p> <p>続いて議題の5「日米親善デーにおける輸送体制について」を議題といたします。</p> <p>事務局の方で説明をお願いします。</p>

(5) 日米親善デーにおける輸送体制について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(5) 日米親善デー（フレンドシップデー）における輸送体制について」をご説明いたします。</p> <p>本議題の資料は、資料5 になります。</p> <p>本議題は、今年5月4日に開催される「フレンドシップデー」における、来場者のシャトルバス輸送に係る運行計画について、お諮りするものです。フレンドシップデーの来場者は、昨年度は113,000人あるなど、多くの方が来場するイベントであることから、当日は「いわくにバス(株)」が中心となって、岩国駅から岩国航空基地へシャトルバスの運行を予定しています。</p>

	<p>ただ、イベントの規模が大きく、近隣の路線バス事業者だけではまかないきれない場合、道路運送法第 21 条第 2 項の規定で、貸切バス事業者も当交通会議の承認を得たのち、国の認可を得れば、期間限定で今回のシャトルバスを運行出来るとあります。</p> <p>今年のシャトルバスについては、貸切バス事業者である「岩国観光バス(株)」にもシャトルバスを運行いただきたいと考えていることから、この度、当交通会議において、お諮りするものです。</p> <p>では、今年の「フレンドシップデー」におけるシャトルバスの輸送計画の概要について、資料に沿って説明をさせていただきます。</p> <p>まず、運行日は 5 月 4 日の日曜日です。</p> <p>次に 2 の運行会社及び運行台数につきましては、表に記載しているとおりで、岩国観光バス(株)、いわくにバス(株)及び防長交通(株)の 3 社で、40 台程度での運行を予定しております。</p> <p>次に 3 の運行経路と運行時間帯につきましては、表のとおりとなっております。</p> <p>これは、昨年度と同様ですが、渋滞時等に備え迂回ルートを追加しております。</p> <p>行きの岩国駅から岩国航空基地内への便は、朝 6 時 30 分から 13 時まで運行を予定しております。</p> <p>帰りの岩国航空基地から岩国駅への便は、18 時頃を運行終了予定としておりますが、混雑状況によって変更する可能性があります。</p> <p>ルートにつきましては、5 の運行ルート図のとおりです。</p> <p>次に 4 の運賃につきましては、大人片道 500 円、こどもは半額としており、全事業者で交通系 IC カードでのお支払いも可能となっております。</p> <p>なお、定期券、敬老優待乗車証は利用不可となります。</p> <p>以上で、フレンドシップデーにおける輸送体制についての説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>只今「フレンドシップデーにおける輸送体制について」を説明していただきましたが、何かご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>梅本委員</p>	<p>昨年 6 月にもお話をしたのですが、シャトルバス自体が 40 台程度、ちょっと少なくなっているというのが若干不安要素でもあります。</p> <p>要は、昨年につきましてはブルーインパルスが午前中で終わっております。</p> <p>ですから、帰るときに一斉ではなくて、ある程度分散したということがございます。</p> <p>それにも拘わらず、非常に混雑をしたと。とりあえず基地のゲートを出てから、非常に多くの方が歩いて、岩国駅まで行く道にはみ出たり、特に怖かったのがタクシーですね。</p>

	<p>タクシー待ちで確か説明したと思うのですが、結局、旭交差点のところでタクシー待ちをしていたのですが、タクシー待ちが全て無くなったのが午後7時を過ぎていたというくらいタクシーが少なかったと。</p> <p>タクシーが足りなくなった理由というのが、駅があまりにも人が多くて、入場制限をして駅に入れなくなった方がそのままタクシーでちょっと遠い自宅まで帰るようになって、タクシーが足りなくなったというところでございます。</p> <p>ここでお願いなんですけど、シャトルバス、出来れば若干増やしていただきたいということと、あと、タクシーの方も台数的なものを増やしていただきたいというところと、あとは当然駅の方でも入場制限等かかるのは致し方ないことだとは思っているのですが、臨時列車の増発、あと、バスについては大竹・広島方面の臨時バス、もしくは周南方面の臨時バス、例えば岩国駅から新岩国駅へのバス等が出来るか出来ないかというのを出来れば検討していただいて、混雑回避にご協力をいただければなというふうに思います。</p> <p>警察としても出来る限りの人数を出しております。</p> <p>はっきり言って、非番員をフルに活用してもあれ以上の動員というのは非常に難しいと。</p> <p>山口の方からも幹部、機動隊員の応援をいただいているというところがございますので、どうかその辺のご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>また、例年のとおり4月に入りましたら早々に、例年であれば当初、合同会議を開いていきたいと思っております。</p> <p>おそらく私の言った希望を持っていると思っておりますので、事前のご検討をお願い出来ればと思います。私の方は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>資料にはバスの方が40台程度としか書いていない。 程度という意味合いは40台以上という意味合いでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、事務局からお答えさせていただきます。</p> <p>今、書いているように、岩国観光バス(株)さん、いわくにバス(株)さん、防長交通(株)さん、3社で出していただけるということになります。</p> <p>詳細の台数については、今からこの3社で出来るだけ出していただくという形で、いわくにバス(株)さんを中心にして調整していただいているのですが、ここからなかなか大幅にというのは難しいかもわかりませんが、今ご意見いただきましたので、先程言われました4月にある合同会議の前には、事前に私たち交通関係の部署で、関係事業者さん集まって色々お話をさせていただきながら、出来ることがあれば改善はしていこうかなと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>昨年の実績、ある程度状況は分かっているわけなので、出来る限り対応可能な部分は協議しながら対応して行ってください。</p> <p>なかなかバスにしてもタクシーにしても、台数を増やそうと思ったらそれだけ運転士さんが要するという話になってくるので、そのあたりも踏まえた上</p>

	<p>で、協議の方をお願いします。</p> <p>他にいかがでしょう。</p>
加藤准教授	<p>今のお話を伺って思ったのは、例えば、そういう多客イベントの時とかに日本版ライドシェアで対応するとかいうのも、まさに全国で取り組まれているとか、中国地方でも例えば、鳥取県で昨年ねんりんピックが11月に行われて、4日間でしたがライドシェアを実施して、あまり実際の利用はなかったようですが、何かそういったことを岩国市でもこの機会に取り組んでみる、という案もあるのかなと思うのですが、その辺はいかがでしょう。</p>
事務局	<p>はい、事務局からお答えさせていただきます。</p> <p>加藤教授言われるように、多客イベントの時にはそういった日本版ライドシェアが使えるというのは国の方で通知も出ているのは承知しているところですが、確か日本版ライドシェアの認定を受けた事業者さんしか出来ないとか、色々制約もあったような気がします。</p> <p>岩国の交通圏で日本版ライドシェアの認可を受けていただいているのが第一交通さんと通津タクシーさんですが、もしやるとなればその2社にお願いするということになるのかなと思いますが、まだ具体的には市の方で日本版ライドシェアを使うというのは考えていないところではございます。</p> <p>こういったフレンドシップデーで毎年積み残しが出るとか、輸送に時間がかかるというのが常態化するようであれば、確かに加藤教授言われたような形で対応も考えないといけないとは思っておりますが、今回は日本版ライドシェアでの併用というのは今のところ考えてはございません。</p>
会長	<p>今言われたライドシェアというのも一つの手法としては有効な手段かなと思いますので、制度の中で可能かどうか検討していかないといけない部分があると思います。今後検討させていただきたいと思います。</p> <p>その他いかがですか、よろしいでしょうか。</p> <p>では他になれば、議題の5について承認することとしてご異議ございませんか。</p>
委員等	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ご異議なしと認め、これを決定いたします。</p> <p>次に議題の6「岩国市生活交通バス（周東地域）の路線再編について」を議題といたします。</p> <p>事務局で説明をお願いします。</p>

(6) 岩国市生活交通バス（周東地域）の路線再編について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(6) 岩国市生活交通バス（周東地域）の路線再編について」をご説明いたします。</p> <p>本議題の資料は、資料6になります。</p> <p>本議題は岩国市生活交通バスのうち、周東地域を走る一部路線について、令</p>

和7年4月1日からルート変更を行うものです。

変更内容といたしましては、川越線・米川線・毛明線の路線上にありました唯一のスーパーが令和6年5月に閉店したことで、バス利用者や近隣住民からの買い物の利便性確保の要望もあり、最寄りのスーパーである中央フード前バス停を通るルートへ路線を延長するものと、中田線につきましては、近年利用実績がないバス停を廃止いたしまして、道幅が狭い道から、広い道へと路線変更するものです。

では、各路線の詳細についてご説明させていただきます。

5ページをご覧ください。こちらの地図は川越線の運行ルートとなります。この度変更するルートは、右下の青い線になっている箇所、中央フード前と松井医院前を通る路線を延長いたします。

また、一日の運行時間を調整するため、川上団地のすぐ近く（約130m先）にあり、利用がほぼない川上団地前バス停と、現在利用のない落合新橋バス停を廃止いたします。落合新橋バス停を廃止することに伴いまして、檜余地下から落合新橋までの緑色のルートも併せて廃止いたします。

6ページをご覧ください。こちらの地図は中田線の運行ルートとなります。

地図左下の変更からご説明いたします。近年利用実績の無い中山、中郷バス停を通過していた緑色の路線を廃止し、青色の路線を通るように路線を変更いたします。これにより、これまで狭い道を通らなければいけませんでした。道幅の広い道を通ることが出来るようになります。

次に右上の変更についてですが、近年利用実績がほぼない周防病院バス停を廃止し、上久宗から周防病院までの緑色のルートを廃止いたします。

次に7ページをご覧ください。こちらの地図は米川線の運行ルートになります。

この度変更するルートは、地図の右側の部分になります。これは、先程5ページの川越線のルート変更でご説明した内容と同じですが、中央フード前と松井医院前を通るルートを延長いたします。また、一日の運行時間を調整するため、近年利用者がほぼない下市バス停を廃止し、併せて緑色のルートを廃止いたします。

8ページをご覧ください。こちらの地図は毛明線の運行ルートになります。

毛明線も先程と同様に、中央フード前と松井医院前を通る青いルートを延長いたします。

ルート変更後における各路線の運賃・時刻につきましては、2ページに記載しております。

これらの変更の周知方法につきましては、バス車内やバス停への掲示及び自治会を通じて3月15日号の広報紙配布に合わせて変更時刻表の全戸配布を行うこととしております。

なお、この度のルート変更及びバス停の廃止につきましては事前に地元自治会に説明をして了解を得ております。

	<p>以上で、「岩国市生活交通バス（周東地域）の路線再編について」の説明を終わります。</p>
会長	<p>只今、議題の6につきまして説明をいただきましたが、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、別になければ議題の6につきましては、事務局の提案のとおり承認することとしてご異議ございませんでしょうか。</p>
委員等	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ご異議なしと認め、これを決定といたします。</p> <p>次、議題の7「岩国市生活交通バス（錦地域）の路線再編について」を議題といたします。</p> <p>事務局で説明をお願いします。</p>

(7) 岩国市生活交通バス（錦地域）の路線再編について

発言者	発言要旨
事務局	<p>議題「(7) 岩国市生活交通バス（錦地域）の路線再編について」をご説明いたします。</p> <p>本議題の資料は、資料7になります。1ページをご覧ください。</p> <p>本議題は岩国市生活交通バスのうち、錦地域を走る一部路線について、令和7年4月1日からルート変更を行うものです。</p> <p>これは令和7年3月29日に錦町の一般国道434号須川バイパスの開通が予定されており、当バイパスの開通により、高根線及び寂地線の運行ルートがこのバイパス経由に変更するものとなります。</p> <p>それに伴い、現在の走行ルートより走行区間が短くなるため、時間、運賃を併せて変更するものです。</p> <p>それでは3ページをご覧ください。この地図は寂地線及び高根線の運行ルートになります。</p> <p>このルートのうち、地図上部の健康村バス停周辺の運行ルートが変更となります。</p> <p>続いて4ページをご覧ください。</p> <p>今回変更となるルート箇所の拡大図となります。</p> <p>赤色の線が新規路線で、緑色の線が廃止する路線となります。</p> <p>こちらの赤色が新設のバイパスのルートとなります。</p> <p>それでは1ページに戻っていただきまして、上から4枠目の「路線の変更」の欄をご覧ください。</p> <p>この度のバイパス開通に伴い、バス停間の距離が変更となっております。「健康村」から「地藏前」が200m、「久保の畑」から「健康村」が400m短く</p>

	<p>なります。</p> <p>各バス停間の所要時間ですが、「健康村」から「地蔵前」につきましては、本来であれば200m距離が短くなるため、所要時間も短くなる場所ですが、現在の運行時間がタイトな設定となっていることから、今回の路線変更に合わせて適切な時間に調整するため、所要時間を2分延長しています。</p> <p>「久保の畑」から「健康村」につきましては、距離が短くなることから6分短縮されます。</p> <p>運賃につきましては、2ページ3番に運賃表を記載しておりますが、距離が短くなった分、金額が下がる箇所があります。</p> <p>例といたしまして、「寂地登山口」から「あさぎりの郷」が変更前が950円でしたが、変更後940円。</p> <p>「健康村」から「地蔵前」が変更前が170円でしたが、変更後160円といった形で、今回短縮の該当となる箇所につきましては、約10円程度の運賃の値下がりとなります。</p> <p>路線区間、時刻表、運賃表の変更の周知につきましては、先程の周東と同じように、バス車内やバス停への掲示及び自治会を通じて3月15日号の広報紙を配布することで対応いたします。</p> <p>なお、こちらの変更内容については、令和6年12月20日に宇佐地区の自治会長へ説明し、了承をいただいております。</p> <p>以上で、「岩国市生活交通バス（錦地域）の路線再編について」の説明を終わります。</p>
会長	<p>只今、議題の7につきまして説明をしていただきましたが、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>別になければ、議題の7につきましては事務局の提案のとおり承認することとしてご異議ございませんか。</p>
委員等	異議なし。
会長	<p>ご異議なしと認め、決定いたします。</p> <p>続いて、次第の3「報告事項」ですが、「外国人を対象とした英語版バスの乗り方パンフレットについて」を議題といたします。</p> <p>事務局で説明をお願いします。</p>

報告(1) 外国人を対象とした英語版バスの乗り方パンフレットについて

発言者	発言要旨
事務局	<p>報告「(1) 外国人を対象とした英語版バスの乗り方パンフレットについて」をご説明いたします。</p> <p>それでは、資料8をご覧ください。</p>

	<p>こちらのパンフレットは、当再生法協議会の新規事業として実施したもので、米軍岩国基地に新規に配属された外国人及び訪日外国人観光客を対象に、市内のバス移動を促すために、バスの乗降方法を伝えるパンフレットを英語で1,500部作成し、今月から米軍岩国基地の担当者を経由して配布するほか、本庁及び岩国駅観光案内所でも配布しております。</p> <p>米軍岩国基地には、毎月約100名程度が新規で配属され、その方々に対しては、毎週水・木曜日にバスツアーを実施し、岩国駅や錦帯橋を回り、バスの乗り方等について案内しておられますが、ツアーに参加しない方もいらっしゃいます。</p> <p>パンフレットの作成はツアーに参加しない方にとってもバスの乗り方について事前に確認出来、参加した方にとっても振り返りが出来る物になると考えております。</p> <p>作成にあたっては、米軍岩国基地内の方および海外に移住経験のある方からご意見をいただき、「どのルートของバスをよく利用するか」「どのような案内があると良いか」など、外国の方から見て分かりやすいパンフレットになるよう作成いたしました。</p> <p>また、裏面の2次元バーコードを読み込むことにより、パンフレットに記載されているバス停の英語版の時刻表ページにアクセスすることが出来ます。</p> <p>今回は初回の作成ということもあり、外国の方がよく使うであろう路線を中心に構成いたしました。実際に使っていただいた上で、様々なご意見をいただき、今後については他路線の記載などについても考えて参りたいと思っております。</p> <p>以上で、報告「(1) 外国人を対象とした英語版バスの乗り方パンフレットについて」の説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>只今、報告がありましたが、これは令和6年度の、今年の事業ですね。何かご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>今年から始めた事業なので。</p>
<p>廣田委員</p>	<p>素晴らしい取り組みだと思いますが、今後意見を聞かれてということもあったので、是非清流線など列車も、同じように乗り方パンフレットを作っていたらいいなと個人的には思いました。JRも含めてですね。</p> <p>また今後の課題で是非お願い出来ればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今回このバスの乗り方パンフレット、岩国駅、錦帯橋、潮風公園と選んでいるわけですが、実際に錦帯橋に行くにあたって、清流線、岩徳線になりますけど、川西まで行くとか、その時に清流線も併せて案内をするとか、そういったやり方はあるかと思っております。</p> <p>あとJRさんも、岩国駅方面、由宇駅方面ありますから。</p> <p>これから基地の実際に使われる方々の意見を貰いながら、中身を充実したものにしていけたら。</p>

	<p>その他どうですか。</p>
<p>加藤准教授</p>	<p>最初の議事1のところでも少し意見させていただいて、動画とかSNSとかそういうデジタル媒体もお願いしたところだったのですが、このチラシ自体は基地の方にどれくらい配られるものなのかというところと、あと他の所は駅とかそういう所に配布されるとか、錦帯橋とかですね、そういう所にチラシを置かれるという形になるのか、配布方法を知りたいところと、あと例えば「運賃はいくらですか」とか定型の質問文が書いてあるのですが、逆に受け入れ側の運転士さんの方がちゃんと英語で答えられるようになっているのかというところをどういう風にされているのかなと思いますし、バスに限らず、市民の方であるとか、高校生や大学生が英語で回答したりとか、サポートしたりとかいうところを増やしていくと、岩国のイメージとしても、外国の方、インバウンドの方を受け入れるというホスピタリティみたいなものも醸成されるかなと思いますので、そういうところにも展開していただきたいなと思いますのと、これは基地の方をということでしたが、外国人というところを捉えると、岩国とか宮島とか広島は欧米系の方が多いとは思いますが、アジア系の方に向けての多言語対応とか、こういった案内みたいなものも併せて取り組まれてもいいのかなと思ったところです。以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>では、事務局の方からお答えさせていただきます。</p> <p>配布方法についてですが、このパンフレット1500部作りまして、基本的には8割9割くらいは米軍岩国基地の中で配布をしていただくという形で、毎月米軍の方が100人程度新規で赴任されているとお聞きしております。その100人の方を対象にこれを配っていただいて、バスの利用を促すというかたちにさせていただきます。</p> <p>残りの部数につきましては、市役所本庁内や岩国駅の観光案内所の方にも置かせていただいて、外国人の方に手に取っていただけるような環境を整えていきたいと思っております。</p> <p>あと、市のホームページとか観光系のホームページにも載せられたらいいなと思っております。</p> <p>今、観光系のホームページについてはお話をさせていただいているのですが、そのような形で展開していけたらなと思っております。</p> <p>あと、いわくにバスさんの運転士さんの受け入れ態勢ということですが、全員が全員英語が話せるわけではない、私たちも含めてですが。</p> <p>簡単な料金の指さしで指示するとかいうのは、運転士さんも出来ると思いますので、整理券を見せていただいて、その整理券に沿った料金の番号を指さして確認していただくとか、そういうような形で、降車時に対応していただければなと思っております。</p> <p>インバウンドの多言語化というところも今ご提案いただきました。現在のところは、世界でもかなり多く話されている英語というところで作成はさせていただきます。</p>

	<p>予算等の関係もございますので、今後どこまで多言語化出来るかというところもありますが、そういったところも色々なご意見を聞きながら検討はしていきたいなと思っております。以上でございます。</p>
加藤准教授	<p>ありがとうございます。</p> <p>追加で、例えば英語の対応ですね、聞かれた時に答える、私もそんなにうまくないですが、今アプリとかそういったもので翻訳してくれるデジタル機器があります。スマホでも出来ますけども、そういったものを何か置いておくとか、対応するとかということでもいいかなと思ったりもしますし、あと米軍基地の方を主なターゲットにして利用していただくということで、これ現在どれくらいの方が例えばこの錦帯橋の路線を使っておられて、こういったことをやることによって、外国人の方の利用を増やしていこうということでしたら、議事の1にも係わるのですが、現状値がどれくらいで、こういった施策をやったことによって、その当該の路線の米軍の方の利用がこれだけ増えましたとか、反響がありましたとか、そういった測定をしてもらったらいいかなと思ったりしますし、場合によっては米軍の方に無料で何人かモニターみたいな感じで乗ってみていただいて、「確かに使いやすいな」とか「こういったところが不便だな」とか何かそういうやり取りをしていった方が、チラシ配って使ってくださいというよりは、もっと積極的になるんじゃないかなと。</p> <p>そういう方が使われると、他の方がフォロワーとして、「何か使っているな」「俺も乗ってみよう」とか「一緒に乗ろう」とかそういう相乗効果に繋がるんじゃないかなと思ったりするので、確かにせっかく岩国市には米軍基地とか観光資源があるわけですから、そういったところにアプローチされるというところは素晴らしいと思いますので、何かこううまく繋げていただきたいなと思います。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>実際、錦帯橋の近くで外国人の方を多く見られる状況になってきています。バスに乗って、バスで待っておられる外国人の方を多く見ますが、実際どれくらい乗っているかというのは、なかなかすみません、そこまで把握はしていないところがございます。</p> <p>いわくにバスの浅井さんが今日出席いただいておりますので、外国人の方が降りられる時の対応とか、肌感覚になると思うのですが、どれくらい今乗っているとか、その辺で分かるような何かございましたらご説明いただけますでしょうか、浅井さん。</p>
上田委員代理 浅井様	<p>そうですね、やっぱり外国の方の利用というのは実際増えているというのを感じております。</p> <p>先程ご意見もありましたように、運転士が全員が全員、外国語の対応が出来るというわけではないのですけれど、やっぱりカタコトと言いますか、「錦帯橋」とか「岩国駅」とか簡単な言葉を汲み取って案内をする、一応はそれでご理解をいただける、指さしとかですね。そういったことを降りるときにはして</p>

	<p>いるというような状況です。</p> <p>個人的にもしかしたらスマートフォンにアプリを入れてとかされている方もいらっしゃるかもしれないのですが、そういう取り組みが広がっていけばいいのかなとも思っております。</p>
会長	<p>私もたまにですが、錦帯橋で外国のお客さんが降りられるのを何度か目に見ることはありますけど、運転士さんと話をされているというのを見たことがあります。</p> <p>ちゃんとお互いコミュニケーションが取れているなというふう感じておりましたので、これからも運転士さんもそういった勉強していただけたら、より外国の方に楽しく観光地を巡ってもらえるのかなと思います。</p> <p>はい、他にございますか。</p>
廣田委員	<p>錦川鉄道は錦帯橋の方の料金収受、ロープウェイの料金収受なんかもやっているのですが、肌感覚で申し上げますと、平日は半分くらいが外国人のお客様、大体200人から500人とか600人くらい来る感じ。少なくともそれくらいが外国人で、バスで利用されているのか車で利用されているのかまでは把握していませんが、そのうちの一部でもバスで利用していただけるとなると、渋滞の問題もありますし、非常にいいかなと思います。</p> <p>カタコトの英語は当然、錦帯橋は毎日外国の方の相手をしているわけですから、バスの運転士さん同様にカタコトの英語でも毎日やれば慣れると思います。日頃から使いさえすれば、聞かれることも大体決まるので。</p> <p>そういった形でやっていけばいいかなと思いますし、一番は何かあった時ですね。地震があった時とか。</p> <p>災害があった時にどういった対応が出来るかというのはやっぱり一番不安なところであると思うので、観光庁さんが出されている「外国旅行者向けの伝わる表現用語集」というのがホームページにあります。そういったものも手元に置かれて、そういった対応というのも広い意味では今後必要になるんじゃないかなということ、我々今考えているところです、ご参考までに。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他どうでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、報告ですので本件は以上で終わります。</p> <p>以上で本日の議事、報告は全て終わりました。</p> <p>事務局の方から何か報告等ありますか。</p> <p>なければ、委員の皆様方の方で何かその他等でもかまいません、ご発言がありましたらお願いをいたします。</p>
梅本委員	<p>お知らせということで、お集りの皆様方には3部ほど資料をお渡ししております。</p> <p>要は来年度、4月1日から免許の関係が非常に変わります。</p> <p>まずは今年度末、3月31日を以て岩国西幹部交番と広瀬幹部交番の免許業務が廃止となります。</p>

	<p>4月1日からは岩国警察署もしくは柳井警察署、光警察署または小郡の総合交通センターでの免許更新等をお願いしたいと思います。</p> <p>ただ、5月8日木曜日に周南免許センターが開設します。</p> <p>これは周南総合庁舎にございます。ここで免許センターと一緒に即日交付で、日曜日にも開いております。ただし注意していただきたいのは、予約制が導入されます。</p> <p>ですから、突然行っても講習とか受けることが出来ないということになりますので、その点はホームページ等をしっかりと確認していただければと思います。</p> <p>この2つの件につきましては、市報でも載せていただくようにしておりますし、広瀬幹部交番内および西幹部交番内のほとんどの世帯には案内を配布する予定です。</p> <p>広瀬幹部交番におきましては、週1回やっていた窓口等は廃止になるのですが、今度は月1回第1水曜日の午前10時から午後1時までの間で、警察本部運転免許部が出張して、出張免許サービスというのをを行います。</p> <p>これについても、各世帯にお配りする中に詳しく書いております。</p> <p>それを見ていただければと思いますが、高齢者と優良の方は講習、高齢者は講習がないのですが、優良の方は講習受けられますので、一般講習とか違反、初回講習の方は講習が受けられない等の制限がありますのでお間違いのないようお願いいたします。</p> <p>それと3月24日からはマイナンバーカードと免許証の一体化がはじまります。</p> <p>これもホームページ等見ていただいて、分からなければご質問等いただければと思います。</p> <p>もう一つ大きいことですが、最近交通死亡事故が岩国警察署管内多発しております。すでに今年に入って3件と、去年は1件しかなかったのが、すでに今年3件と、和木町含めてですね。</p> <p>1件は路面凍結した国道2号線での事故でした。</p> <p>ですから、皆様方、凍結時はよく車間距離をとって、ゆっくり安全運転に努めていただき、決してトラックはノーマルタイヤではなかったのですが、凍結であればそれでも滑るということで安全運転をお願いいたします。</p> <p>それと、2件は高齢者の単独事故でございました。高齢者の方、出来れば体調不良時とかについては、運転を控えていただく、家族・知人等に送ってもらうということを考慮していただければと思います。私の方は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>今、報告をいただきましたが、今の報告を受けて何かご質問等があれば。どなたかいらっしゃいますか、よろしいですか。</p> <p>では、ないようですので、私の方で議事の方は以上で終わらせていただきます。</p> <p>あとは事務局の方へお返しします。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第4回岩国市地域公共交通活性再生法協議会及び令和6年度第3回岩国市地域公共交通会議を閉会いたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p>
-----	---